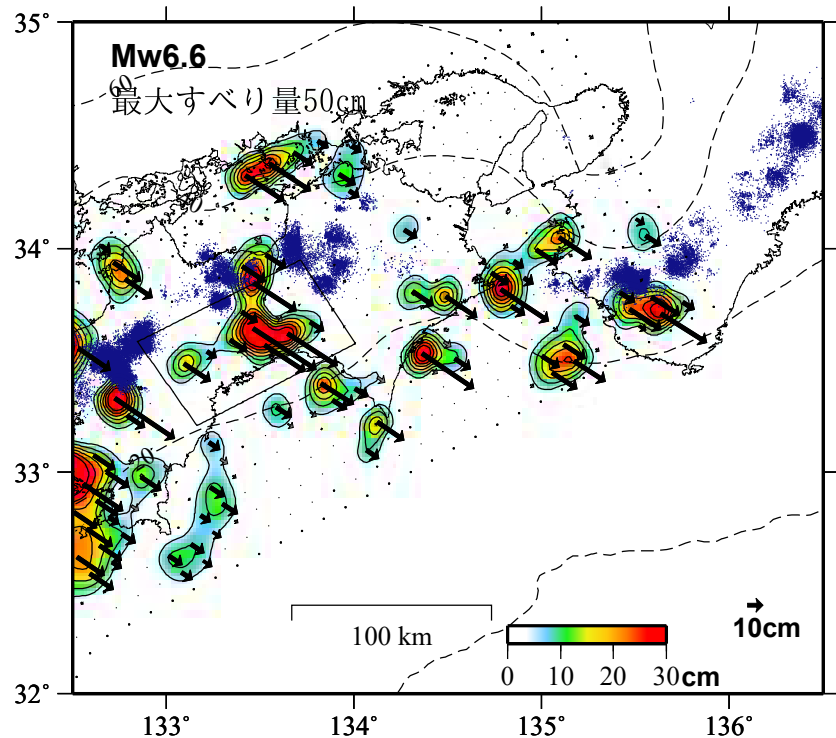
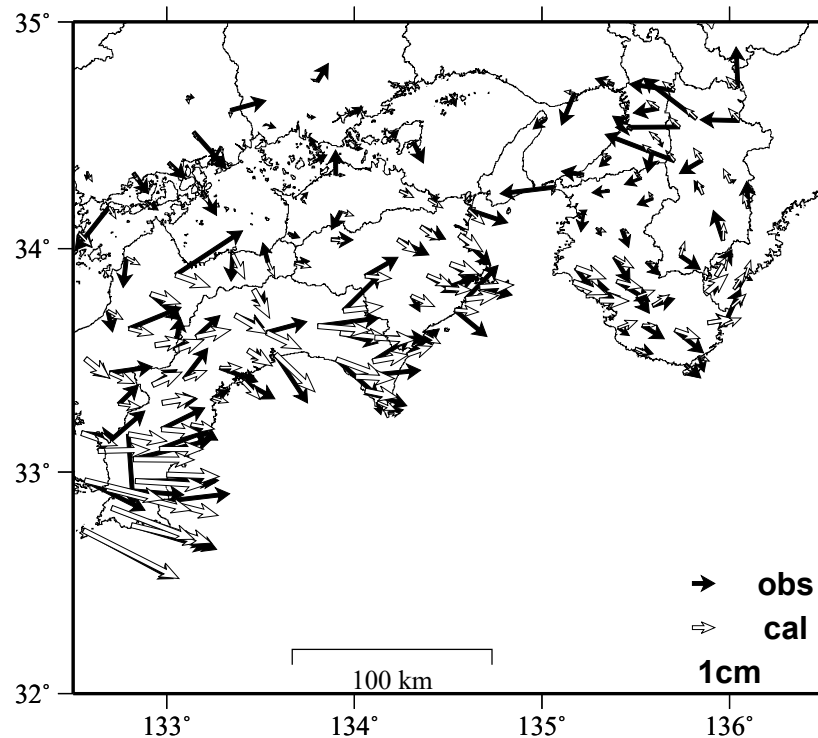


GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり (暫定)

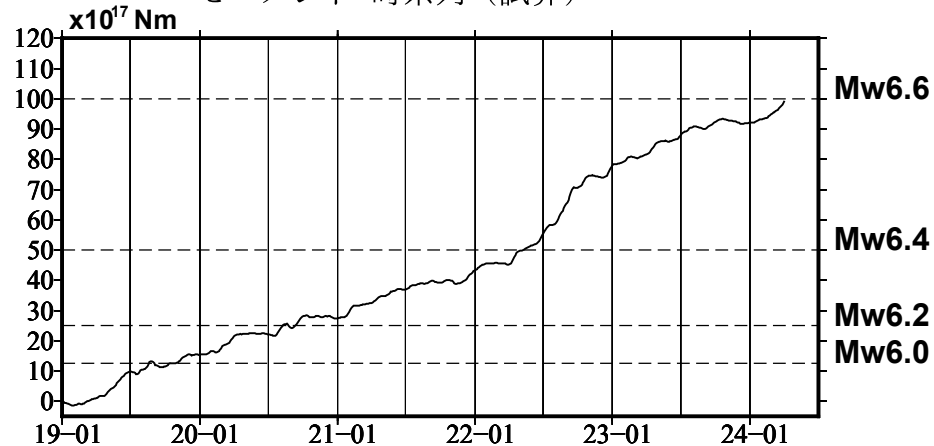
推定すべり分布
(2019-01-01/2024-04-02)



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較
(2019-01-01/2024-04-02)



モーメント*時系列 (試算)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。
使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)
F5解 (2019-01-01/2024-03-23) + R5解 (2024-03-24/2024-04-02)
トレンド期間: 2017-04-01/2018-04-01 (年周・半年周成分は補正なし)
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2019-01-01/2024-04-02)
固定局: 上対馬
*電子基準点の保守等による変動は補正している。
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している (Suito, 2017, 水藤, 2017)。
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的SSEを補正している。
*共通誤差成分を推定している。
*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。
*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。